

グループ グリーン ③	中村 みさと	SI 熊野	広島県立熊野高等学校
<p>私は今回このユースフォーラムに参加させていただくことができ、本当に良い経験になったと思っています。短い二日間という時間は過ぎ去るのはあっという間でしたが、とても充実した内容の濃いものでした。</p> <p>「女子力アップ！～女性が夢を生きるために～」というテーマのもと、どのユースも自分なりの考えを発表していく中で、また新たな気付きや発見がありました。では、グループごとにこの十人十色の考えをどうやって、グループとしてのひとつの結論を導き出すのだろうか？そんな心配は杞憂に終わりました。グループ討論、自由研究、そして就寝前までの話し合いの中、みんながそれぞれしっかりとした意見を持ち、相手の意見を取り入れ、新たな考えにたどりつく中、いつのまにか、私たちはすっかり仲良くなっていました。そして、話し合いや原稿作成は、深夜…というよりも早朝の4時までかかりました。たくさんの時間をかけて、意見を交換しあい、話をまとめていったあの夜は、きっと一生忘れられません。私達の考えた女子力というものは、「ジェンダーの壁をのり越える力」です。この女子力を生かしていけるような素敵な女性になっていきたいと思います。</p> <p>最後になりましたが、今回、このような貴重な機会を与えて下さったソロプチミストの方々には、感謝の念でいっぱいです。本当にありがとうございました。グループグリーンみんな、本当に楽しかった。ありがとう！！</p>			

グループ グリーン ④	尾瀨 千咲	SI 下関	梅光学院高等学校
<p>2日間の日程を終えた今、ユースフォーラムに参加して本当に良かったと思います。</p> <p>頭脳明晰で社会への関心が大きく、そして女子力あふれる女子高校生の中で、たくさんの刺激を与えられました。プレゼンでは個性豊かな発表をたくさん見ることができ、自分の発表では短時間発表の情報伝達の難しさを知りました。そして、興味深い講演の後のハイレベルな討論では、ジェンダー問題について深く考えることができたのはもちろん、同世代の子と熱く議論することのおもしろさも感じました。他の人の意見をこんなに尊いものだと感じたことは、今までになかったかもしれません。意見をぶつけあい、とことん話しあった後は、今日初めて会ったグループのみんなとの距離はびっくりするぐらいに近くなっていました。ほぼ徹夜の発表準備はハードでしたが、あいまあいまにくり広げられる女子トークに笑いがたえませんでした。(笑)</p> <p>今回得たものは、コミュニケーション能力、ジェンダー問題への関心、自己形成への意欲、そして意見をシェアしあえる友達です。本当に楽しくて、充実した2日間でした。</p> <p>今回私が学んだことを、また周りへとシェアすることの必要性を感じています。ここで出会った仲間とのつながりを持ちつつ、私も私のすべきことを今、実践し、女子力向上に精進したいです。私たちこそ、みんなが夢を生きることができる未来をつくる、女子力の結晶です☆</p>			

グループ グリーン ⑤	岡野 玲那	SI 笠岡	岡山龍谷高等学校
<p>二日間に渡り、本当にお世話になりました。このような良い機会を与えてくださり、心から感謝いたします。</p> <p>私は今まであまりジェンダー問題を考えるきっかけがなく、深く考えたことがなかったのですが、今回自分自身で考えることが出来、なおかつ同じ女子高校生で意見交換をするというとても有意義な時間となりました。正直、私は、あらかじめの準備した物を発表する事は大好きなのですが、質疑応答をする場は苦手でありました。苦手というもの、今までそんな機会がなかったという事もあるのではと思っています。今回一番印象に残っているのはやはり、“グループ発表”です。一人だけ出来れば良いという事ではなく、グループ全体でひとつの良いものを作らなければなりません。1日目からハードスケジュールで上手くまとめる事が出来ず、2日目の朝4時までかかり完成させる事が出来ました。すごく眠く、疲れていたのですが、グループが団結して頑張れたので苦に感じませんでした。発表本番でもグループで協力し合い、良いものを築けました。始め述べたように、質疑応答(グループ討論)が苦手でしたが、周りの影響も受け、ハキハキと白熱した討論が出来たと感じています。</p> <p>このYOUTH FORUMを通し、私は一回成長することが出来ました。今回学んだ事を生かし、今の自分に出来る事から見つめ直し、自らもっと多くの情報を発信したいです。</p>			

グループ グリーン ⑥	鈴木 愛純	SI 岡山さつき	おかやま山陽高等学校
<p>私は今回のフォーラムにおいて大きく分けて3つのことを学ばせていただきました。</p> <p>1つ目は、ジェンダーについて日本と外国の制度や意識の違い、そしてそれによって生じている壁や現状のこと。</p> <p>2つ目は、それを改善していくにはどうすれば良いのか。ということで、女性自身が強い意志を持って行動していくこと。内面から磨かれるものこそ、本当の女子力ではないかということ。そしてそれらは、今から行動を起こしていくことで、少しでも変えて行けるということでした。</p> <p>3つ目は、出会って間もない我々女子高生が、「女子力とは何か」について討論し、そしてわずか半日～1日で結論を出しまとめるということ。これは、本当に高校生の特権のようなものではないかと思いました。子どものようで、もうすぐ社会に出て行く立場として様々な視点から物事を考え、行動したり吸収したりをこれだけ活発にできるのは、この時期だから出来るのだと、ただ純粋にそう思いました。</p> <p>そして今回、このフォーラムの運営に携わっていただいた多くの方々を始め、様々な個性をもつ、キラキラと輝いているユースの方々に出会えたことを、本当に感謝しています。</p> <p>刺激的でとても充実した時間を、ありがとうございました。</p>			

グループ グリーン ⑦	高橋 市佳	SI イースト愛媛	愛媛県立三島高等学校
<p>私は今回のフォーラムに参加して、沢山のことを感じました。ユースの皆の元気な声や笑顔が光る自己紹介は、次世代を担う女の子の希望を感じさせ、オブザーバーの方々の温かい応援は、私たちが目指す大人の女性の優しさを感じさせました。そして何より私が新たに感じたのは、言葉のキャッチボールの難しさと面白さです。相手の意見を従容として受け入れるだけでなく、自分の意見ばかりを押し付けるのではなく、その中庸を行く一。グループ討論の間も、行き場のない話題で自分の意見ばかりが行き過ぎているという場面をよく見かけました。会話が主張のし合いになってしまい、堂々巡りを続けることもありました。論を戦わせるのは、様々な問題解決のよい手立てとは成り得ますが、その正しい方法、まさに主張と傾聴の姿勢を携え、行わなければならないと思いました。</p> <p>そして、グループグリーンで行った研究発表。皆が協力することの大切さを改めて感じ、同時に、一人では到底できない！と思うことも、皆と協力すれば必ずできるんだ！ということを感じました。行く末は、これらの主張と傾聴の姿勢や、協力というものが、私たちの将来、女性として輝きをもった人生を生きるということに繋がることでしょう。</p> <p>皆と感じた様々なことを生かし、次生まれてくる世代が、男に生まれても女に生まれても、幸せだったといえる社会を作れるよう、今できることを始めていきたいです。</p>			

グループ グリーン ⑧	高森 優子	SI 岡山 桃	山陽女子高等学校
<p>初日あんなに緊張していたのがうそみたいな2日間でした。グリーンの人たちはみんな自分の意見をどんどん言えて、正直焦りました。でも、少し話すと皆すごくいい人で、2日間とても楽しくあっという間だったように感じました。</p> <p>人との出会いというだけでなく、こんな風に人と意見交換するというのはとても新鮮でした。テーマとして「女子力」や「女性が夢を生きるために」ということの10人のそれぞれ違った視点が面白く楽しいものでした。ほとんど明け方まで一緒に頑張ったメンバーが出会って半日だなんて信じられませんでした。</p> <p>自分たちのグループだけでなく他のそれぞれのグループの意見も良い刺激になりました。今回のテーマについてだけでなく、その問題への取り組み方にも何度も感心してしまいました。私の視野や考え方は狭いものではないかと考え直すこともたくさんありました。ですが、そうやって何度も考え直すことも私の日々の生活ではあまりないことなので楽しいものでした。</p> <p>今回のユースフォーラムに参加したことで、私は本当に沢山のものを得ました。問題への取り組み方、考え方、新しい視点、そして友人など。特にシェアすること、発信していくことに強く興味を持ちました。高校生だからできること、女性だからできることをもっと深く広く多くの人とシェアしていきたいと思いました。2日間のことは忘れられません。</p>			

グループ グリーン ⑨	田坂 理英子	SI 松江	島根県立松江東高等学校
<p>今回、このユースフォーラムに参加して、私は特に言葉の大切さを学びました。</p> <p>学校で、突然国際ソロプチミストのユースフォーラムへの参加をすすめられたとき、私は、まず国際ソロプチミストと言う組織をまったく知りませんでした。</p> <p>参加前はそのような状態で、会場に来てすぐの時も何を「させられるのか」と非常に不安でした。</p> <p>しかし、学校では残念ながらあまり行われぬ「お互いの意見を自分の言葉で積極的にぶつけ合う」という機会が数多くあり、「伝え合う」ことの面白さや楽しさ、大切さを学ぶことができました。</p> <p>自分の思いを率直にぶつけ、一つのグループ発表に向け取り組んだからこそ、出会ってからたった一日と少ししか経っていないグループグリーンメンバーと、数年以上の付き合いがある友人のような深いつながりを形成できたのではないかと感じました。</p> <p>このような活動を通して実感した言葉で伝え合う大切さを、今後の生活で生かしていきたいと思います。私はJRC（青少年赤十字）部に所属しているので、部の活動について学校のHPを利用するなどして発信し、部員同士で活動に対する考えを議論していきたいです。他にも、友人との会話においても生かす場は様々あると思います。</p> <p>ユースフォーラムで得たことを自分の中で留めず、積極的に拡散しようと思いました。</p>			

グループ グリーン ⑩	竹内 真穂	SI 高知	土佐女子高等学校
<p>今回、ユースフォーラムに参加することで私自身、大きな変化がありました。どのような規模なのかを把握しないまま当日を迎えてしまい、会場に着いてすぐ、あまりの規模の大きさに驚きを隠せませんでした。</p> <p>会場に着いてすぐ行われた2分間のプレゼンテーション。一息入れる間もなく、次々と予定は進んでいき、私はついてゆくのがやっとでした。しかし、他のユースメンバーは緊張などまったくしていない様子で、意見もどんどん出していました。その受け答えは事前に用意されたものではなく、その時々に出される様々な意見と自分の意見を関係させて答える、いわば臨機応変がとても上手で、私はただ圧倒されていました。私も何か言わなければ。あせりと不安で胸は一杯でした。しかし、ここで一つ勇気を出さねばどうするんだ、自分は勝手にあせっているばかりで、内容について深く考えれていないのではないかと、思い、落ちついてから、自らのジェンダーに関する意見を述べはじめることが出来ました。まだまだ終わりが見えない、賛否両論が飛び交いながらのグループ発表練習は明け方まで及びました。しかし、グループ全員がきちんと自分の意見を持ち、濃い内容の話しあいが出来たおかげで、各々が新しい理解、世界を共有できたのではないかと思います。私たちが何かアクションをおこすことで、ジェンダー問題の解決につながる糸口が見つかる。未来への新しい希望が持てた二日間でした。</p>			